

セリ会報告

作12月例会は恒例の虫関係何でもありのセリ会でした。なんと例会始まって以来の最高の出席数で52名(全会員の三分の一以上)の参加がありました。こうなるとさすがに広いなどと思うときもある会議室も椅子の数がたりず、数名の立ち参加も出ました。

セリ人も数名が交替で勤め活気あるすばらしいセリ会でした。参加の皆さん、企画の方々ありがとうございました。今後もこのように活気あふれる楽しい例会が続くとよいですね

以下にセリ状況を記しておきます。

通番	番 号		出品者	品 名	数量	出品者最低 希望価格	落札結果	
	員 数	件 数					落札者	落札額
1	1	1	渡辺 隆	「蝶類年鑑 1988」	1冊	¥600	三輪 真言	¥1,000
2		2	渡辺 隆	「カラーガイドブック」3冊セット 「日本の蝶」1・2巻と「日本の蝶・世界の蝶」	1式	¥300	斉藤 軍二	¥1,000
3		3	渡辺 隆	蝶切手セット	1式	¥500	宮崎 茂穂	¥1,200
4	2	1	中谷 貴壽	書籍「チョウ、富士川から日本列島へ」 (1980) 高橋真弓著	1冊	¥500	松田 邦雄	¥500
5		2	中谷 貴壽	市報とうみ、オオルリシジミを守る特集 (2004-8) 清水敏道他共著	1冊	¥100	栗山 定	¥200
6		3	中谷 貴壽	同上	1冊	¥100	児山 元昭	¥200
7	3	1	北川 朝生	インペラートル2頭	2♂	¥1,000	須藤 正弘	¥5,000
8		2	北川 朝生	下北半島の蝶セット13頭	1式	¥500	藤岡 知夫	¥5,000
9		4	北川 朝生	中国の興味深い蝶50頭	1式	¥1,000	富永 滋	¥5,000
10	4	1	雨宮 範正	ゴマシジミ	1♂	¥1,000	藤岡 知夫	¥7,000
11		2	雨宮 範正	ダイセン	1♂	¥500	杉山 哲三	¥1,500
12		3	雨宮 範正	ミヤマカラスシジミ	1P	¥500	浦野 博	¥800
13		4	雨宮 範正	シルビヤ	2P	¥1,000	藤岡 知夫	¥4,000
14	2	2	栗石 卓	アミドンアグリラスA. amydon zenodorus ♂	1頭	¥3,000	新井 久保	¥13,500
15		3	栗石 卓	ファルクドンアグリラス A. phalcidon fournierae	1頭	¥1,000	小出 雄一	¥6,500
16		4	栗石 卓	アオタイヨウモルフオ Morpho cisseis ♂	1頭	¥200	渡辺 隆	¥4,000
17	6	1	藤森 義経	ハヤシミドリシジミ卵	10卵	¥500	松井 弘	¥1,600
18	7	1	小野 令三	ハヤシミドリシジミ卵	10卵	¥300	岡田 秀紀	¥1,600
19	8	1	小松 恵	オオイチモンジ	1P	¥1,500	日野 隆	¥4,500
20		2	小松 恵	ヒロオビミドリシジミ	1P	¥800	杉山 哲三	¥2,500
21		3	小松 恵	アオスジアゲハ(春型)	1♂	¥300	藤岡 知夫	¥2,000
22		4	小松 恵	オオルリシジミ	1♂	¥500	宮崎 茂穂	¥5,500
23	9	1	間野 雄次郎	大型標本箱	1式(2箱)	¥3,000	池沢 隆一	¥3,000

24	10	1	栗山 定	東北地方のヒメシジミセット	1式	¥1,000	小出 雄一	¥3,000
25		2	栗山 定	コーヒーミルク 6個組	1式	¥100	山田 厚子	¥700
26		3	栗山 定	ジャノメチョウ科セット	1式	¥500	森本 博	¥1,500
27	11	1	小柴 清之	書籍「ケニヤの蝶」図鑑	1冊	¥1,000	斎藤 基樹	¥4,500
28	12	1	松井 弘	「蝶類年鑑1996年版」・「2001年版」	各1冊組	¥7,000	森本 博	¥7,000
29		2	松井 弘	オオムラサキ幼虫	10幼虫	¥1,000	仲西 周二	¥1,500
30		3	松井 弘	ゴマダラチョウ幼虫	10幼虫	¥1,000	山田 厚子	¥1,000
31		2	中村 英夫	日本蝶類学会(分裂前)総会記念テレカ	1式	¥2,000	松井 弘	¥2,200
32	14	1	松田 邦雄	ポロシャツ	1着	¥2,000	岡田 秀紀	¥2,000
33		2	松田 邦雄	捕虫網の棒	1本	¥2,000	新井 久保	¥2,500
34	15	1	仁平 勲	ツマグロキチョウ(夏型)	5exs	¥300	斉藤 軍二	¥1,000
35		3	仁平 勲	ミヤマシロチョウ(規制前標本)	1P	¥600	山田 厚子	¥2,000
36		4	仁平 勲	書籍「日本の蝶界回顧」、白水隆著	1冊	¥1,000	山田 成明	¥2,500
37		1	朝長 政昭	台湾ヒメシジミ8頭と そのぐらいの大きさのヤクルリ	1式	¥1,000	樋田 光	¥6,500
38	16	2	朝長 政昭	八重山の蝶セット	1式	¥1,000	岡田 秀紀	¥2,000
39		3	朝長 政昭	オオウラギンヒョウモンのメス	2♀	¥1,000	斉藤 軍二	¥5,000
40		4	朝長 政昭	美しい蛾のセットもの	1式	¥500	零石 卓	¥2,500
41	17	1	山田 厚子	アカボシゴマダラ幼虫	6幼虫	¥1,000	仲西 周二	¥1,000
42		2	山田 厚子	ドイツのコナラ 実生苗	1本	¥500	浦野 博	¥600
43		3	山田 厚子	同上	1本	¥500	渡辺 隆	¥600
44	18	1	森本 博	多摩虫50号表紙イラスト原画コピー額装品	1点	¥1,000	朝日 純一	¥3,000
45		2	森本 博	オバケトビナナフシ2頭	1式	¥500	零石 卓	¥1,500
46		3	森本 博	宝石ソウムシ10頭	1式	¥500	岡田 秀紀	¥2,000
47		4	森本 博	人面カメムシ10頭	1式	¥500	松田 邦雄	¥1,200
48	19	1	坂本 洋典	キャンセル				
49		2	坂本 洋典	キャンセル				
50		3	坂本 洋典	キャンセル				
51	20	1	三輪 真言	採集用品 60センチネット(赤) + 金属フレーム	1式	¥600	瀬戸丸 秀夫	¥1,000
52	21	1	麻生 紀章	ヒョウモンモドキ	1♀	¥1,000	藤岡 知夫	¥4,000
53		2	麻生 紀章	ギフチョウ	1♂	¥1,000	藤岡 知夫	¥20,000
54		3	麻生 紀章	アンティーク画	1点	¥500	池沢 隆一	¥1,000
55	22	1	木下 隆方	ルーミスジミ	4♂2♀	¥1,000	零石 卓	¥3,500
56		2	木下 隆方	キリシマドリ卵	10卵	¥1,000	松井 弘	¥2,100
57		3	木下 隆方	オオムラサキ幼虫	5幼虫	¥1,000	瀬戸丸 秀夫	¥2,000
58		4	木下 隆方	シナギフチョウ	1P	¥1,000	零石 卓	¥1,000

59	23	1 寺 章夫	テナゴコガネ2種の細密画 額	1点	¥1,000	斎藤 太増光	¥3,000	
60		2 寺 章夫	ウスバシロチョウ 版画 額	1点	¥500	山田 厚子	¥2,000	
61		3 寺 章夫	ウスバキチョウ蝶額	1点	¥1,000	栗山 定	¥1,000	
62		4 寺 章夫	サツマニシキ	5頭	¥800	小出 雄一	¥3,500	
63	24	1 手代木 求	ペルー産アイイロタテハEunicaセット	1式	¥1,200	池沢 隆一	¥4,000	
64		2 手代木 求	アンデスの高山蝶セット(Colias euxanthe♂♀他	1式	¥1,000	瀬戸丸 秀夫	¥6,500	
65		3 手代木 求	アンボン・セラムのアゲハチョウセット(hypolitus, bridgei, memnon, fuscus, agamemnon)	1式	¥900	杉山 哲三	¥3,000	
66	25	1 仲西 周二	オオムラサキ	1P	¥1,000	宮崎 茂穂	¥7,100	
67		2 仲西 周二	オオルリシジミ	3P	¥1,000	宮崎 茂穂	¥7,500	
68	26	1 大島 良美	シロチョウジャノメ(Davidina armandi)	1♂	¥1,500	斎藤 太増光	¥3,000	
69		2 大島 良美	カルミモンシロチョウ(Pieris naganum naganum)	1♂	¥1,000	藤岡 知夫	¥3,000	
70		3 大島 良美	蝶額	1点	¥1,000	山田 成明	¥2,100	
71	27	1 小出 雄一	フィリッピンカラスアゲハ2♂	2頭	¥7,000	樋田 光	¥16,000	
72		2 小出 雄一	ヨーロッパ産ジャノメ類3種45頭	1式	¥3,000	栗山 定	¥3,000	
73		3 小出 雄一	ミヤマモンキチョウ♂20頭(規制前標本)	1式	¥3,000	小松 恵	¥20,000	
74	28	1 朝日 純一	ウズベキスタンの雑蝶	1式	¥1,500	池沢 隆一	¥12,000	
75		2 朝日 純一	ロシア極東ヤクーツク・アルダン川Tommotの雑蝶	1式	¥3,000	渡辺 隆	¥20,000	
76		3 朝日 純一	「多摩虫クリスマスツリー特製額」他	1式	¥3,500	富永 滋	¥4,000	
77		その他一括					¥22,200	
							落札額合計	¥311,900
							会への寄金	¥61,900

* メルアド変更

宮崎 茂穂 s_miyazaki@kis-inc.co.jp

* 3/15 (土) 13:30~に総会兼昼間の例会(会計報告、バックナンバー取り扱い、会報発送について他の重要議案あり)を開催します。終了後、喫茶組、ドリンク組にわかれて虫談義を予定しております。夜の例会に出にくい方を含めて多数のご参加を宜しくお願いいたします。通常の2~8月までの例会はすべて第3火曜日です。

* 2008年度の会費納入を受け付けを開始します。納入方よろしくご協力ください。

生まれて初めて、セミの羽化の一部始終をみた。8月26日の夜、近所の公園に出かけた。友人の誘いで、五つの坊やから、80の翁まで15人ほどがそのために集まった。

とつぷり暮れた8時ころ、遊歩道脇のロープに、あおむけにつかまっている一匹の幼虫が見つかった。しばらく足場を確かめるように移動していたが、つと動きを止め、やがて、殻の背に縦にすっと亀裂が走る。白い体がゆっくり現れて、約30分後には、腹部の3分の1ほどを殻の中に残したまま、宙つりになった。

落ちてしまいそうな姿を、観衆は、はらはり見守った。やがてセミは、しきりに前かがみに身を曲げ、やつと足が殻に届いたなど見る間に、殻から腹の先を抜き出した。そして、殻を前足2本で確保して垂直にぶら下がり、折り畳まれている羽を伸ばし始めた。

一同、ほっと息をつき、よかったねという優しい拍手が起ったころには、もう小一時間がたっていた。淡い緑に



鮮烈、カンナの花。最近では初夏から初冬まで花を咲かせている（8月10日）

道ばたでひなたぼっこしていた、生まれたてのトカゲの子。尾の先まで7割ほど（7月29日）



暑さがほほ一か月ぶりに取まったのは、8月29日だった。気温の低下に敏感なミンミンゼミが、「ミーン」と行く夏を惜しむかのように、長く尾を引いて鳴いた。秋を呼ぶ声だった。

（生物エッセイスト写真も。毎月一回掲載します）

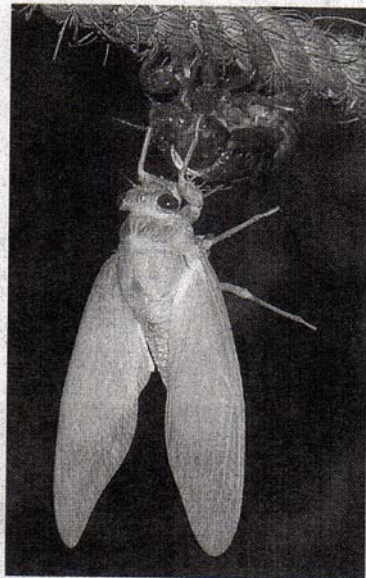
晩夏 セミの羽化ショー

07.9.6 読氣

透き通る羽の、アブラセミの誕生だった。

真夏、8月の横浜の町には、50種を超える花が咲いている。ひととき高く咲くのが、カンナである。なかでも、紫と銅の色が混ざった、團扇用語で言う「銅葉」に、深紅の花が付く「ノコミス」「キング・ハンパート」などが、炎

天に抗して、人の背ほどに咲く。それ以前は、注意深く



羽化するセミ。羽がほほ伸びきった（8月26日午後8時54分、横浜で）

まちかど
四季
歩

菅野 徹

く姿には、王者の風格さえある。ただ近年、これらの品種は栽培が激減し、1ヶ四方ほど私の観察路には、2か所にしかない。

カンナは、熱帯アメリカの原産とされ、横浜の露地で越冬するようになったのは、ここ20年ほどのこと。この地の温暖化が決定的になったのだ

防寒してやらねばならなかった。いまは、陽だまりなら冬の間中葉を伸ばし、霜のころまで花も咲かせている。

人にはつらい酷暑も、爬虫類には好都合らしい。この季節、ニホントカゲの子を時折見かける。細い尾の、青のグラデーションが眼を射る。とてもシャイで、すぐ物陰にかくれてしまふ。成長すると、この青い色は失われ、全体が平凡な褐色になる。